

港区の地域包括ケアシステムについて

地域包括ケアシステムの構築から実現に向けた取組の促進

港区の全ての区民が、住み慣れた地域で医療・介護・保健・福祉の各種サービスを受けながら、その人らしい生活を送ることができるよう、地域の多様な活動主体で支え合う仕組みとした地域包括ケアシステムを構築する必要があります。身近に相談できる窓口を通じて、自分にあったサービスを利用するなど、在宅生活を支えるため、医療・介護・保健・福祉の連携による病院から在宅療養への円滑な移行とともに、地域で医療・介護・保健・福祉などの多職種が緊密に連携ができる環境の整備が重要です。

港区の地域特性を生かした地域包括ケアシステムの構築に向け、関係機関等の連携を深めた取組を一層推進して、地域の実情に応じた効果的な仕組みとして推進します。

港区の人口（平成30年5月1日現在の人口と平成33・37年の人口推計）

	平成30年5月1日現在	平成33年1月1日	平成37年1月1日
人口	255,868人	269,472人	292,951人
高齢者数	43,639人	44,666人	46,826人
前期高齢者数	21,911人	21,766人	20,202人
後期高齢者数	21,728人	22,900人	26,625人
高齢化率	17.1%	16.6% (↘)	16.0% (↘)

後期高齢者数が前期高齢者数を上回る

港区政策創造研究所 港区人口推計（平成30年3月）より

▼ 港区の地域包括ケアシステムのイメージ

